

認定地域建造物資産



第32号

岩井橋

いわいはし

認定年月日	平成23年10月17日
所在地	名古屋市中区大須一丁目、松原一丁目（左岸） 名古屋市中村区名駅南三丁目、中川区松重町（右岸）
年代	大正12年（1923）
構造	単純鋼アーチ橋
特徴	意匠設計は、京都市役所本館などを設計した武田五一と言われている。大正期の鋼アーチ橋で、橋の四隅には船の荷揚げ用に親水階段が設けられ今も残っている。平成19年(2007)に土木学会選奨土木遺産に認定された。
最寄駅	市バス「岩井通一丁目」、「水主町」、地下鉄「大須観音」